

さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
 白い玉が2つと黒い玉が4つでは34点、
 白い玉が2つと黒い玉が7つでは52点になります。
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ●	→ 34点
○ ○ ● ● ● ● ● ● ● ●	→ 52点
これらのちがいを考えることで、	
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px;"></div>	→ () 点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

③ 白い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ●	→ 34点
● ● ● ●	→ () 点
これらのちがいを考えることで、	
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px;"></div>	→ () 点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
 白い玉が2つと黒い玉が4つでは34点、
 白い玉が2つと黒い玉が7つでは52点になります。
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ●	→	34点
○ ○ ● ● ● ● ● ●	→	52点
これらのちがいを考えることで、		
● ● ●	→	(18) 点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式) $18 \div 3 = 6$

6 点

③ 白い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ●	→	34点
● ● ● ●	→	(24) 点
これらのちがいを考えることで、		
○ ○	→	(10) 点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式) $10 \div 2 = 5$

5 点